

# 学年通信



岡山操山高等学校2年次生  
生徒の皆さんへ  
そして保護者の皆様へ

2009.6.27.

## 【修学旅行が終わりました。】

新型インフルエンザ発生以来、紆余曲折ありましたが、修学旅行に無事行ってきました。幸い天候に恵まれ、さほど暑くもなく、大きな病気・事故もなく、有難いことでした。

一日目は鎌倉 横浜。鶴岡八幡宮や鎌倉大仏は、意外に訪れる機会が少ない場所です。鎌倉は攻めるに難く守るに易き所と、知識としては知っていても実際に切通しをバスで通ってみて、その意味が分かったのでは？ 横浜では自由散策の途中で残念ながら雨が降りました。そのせいか、近場の中華街をうろろうした人が多かったようです。私は赤煉瓦の方まで行きましたが、会えた生徒は少数でした。



二日目はディズニーランド。この日の感想は人によって大きく異なると思います。夢の世界を大いに楽しんだ人もいれば、アメリカナイズされた消費文化には馴染めないと感じた人もいるでしょう。10以上のアトラクションを楽しんだ人もいたようです。先生方の中にも、延べ20のアトラクションに乗ったという猛者も・・・。

三日目は班別自主研修+ナイトプログラム(約半数の人)。朝の天気予報では午後の降水確率70%でしたから、野球観戦は無理だなと思っていたのですが、全く降らず、すべて予定通り、全員が安全にホテルに帰って来られたのが何よりでした。

四日目は東大 or 国会議事堂からお台場を回って帰岡。私は東大について行ったのですが、荻谷剛彦先生のお話は「高校までの勉強と学問研究の違い」、「研究するとは」ということがテーマでした。大変分かりやすいお話で、聞いていた皆さんは新しい事実を調査して、新たな問題を提起することのおもしろさを理解できたのではないのでしょうか。国会は、臨時国会開催中とあって見られる場所が限られていて、混雑する中、「牛歩」での見学となりました。



全体として、時間管理が大変良くできた修学旅行だったと思います。次に何をしなければならぬかをよく理解して行動できたのは立派でした。しかし、その一方で、新幹線やホテルでのマナーについては、首をかき上げる場面がありました。自分の仲間内だけで盛り上がるのではなく、周囲の人への配慮が欲しいと思います。新幹線の中で阿部謹也『「世間」とは何か』(1995、講談社)を読み返していたので、なおさらそう感じたのかも知れません。操山高校という自分の小さな「世間」だけを考えるのではなく、「社会」を考えながら行動することが大事です。

## 【第1回実力テストについて】

第1回実力テスト(6/9実施)の度数分布は左の通りです(HP版では割愛)。英語は、筆記試験(200点満点)+リスニングテスト(50点満点)=250点満点を200点満点に換算した、総合点です。

今回は県総体と修学旅行に挟まれた時期にあったことを考えると、多くを望むのは酷かも知れませんが、やはりこれでは物足りません。

改めて答案用紙を見て欲しい。もう少し徹底した勉強をしていれば正解できた問題があるのではないかと。テストとは受験して結果が出るまでは半分の意味しかありません。それを復習し、自らの勉強法の改善に役立てるのが、もう半分の意味です。形式的にテスト直しをするのではなく、一から解いてみる。その結果、どこでつまづいたのか、同じ失敗を繰り返さないためには、勉強法をどう改善すべきか、それを考えるのが大切です。考えて分らなければ、質問して下さい。勉強の質と量を改善しない限り、同じことの繰り返しになります。

## 【生活実態調査結果(6/1<月>~6/7<日> )】

平均の数値については、進路通信「Bridges」に那須先生がコメントを書かれているので、重複は避けます(保護者の方は「Bridges」を御覧下さい)。県総体の中心日が含まれる週に調査したもので、必ずしも普段の「実態」を反映していないと思いますが、これを一つのキッカケとして、自分の生活を顧みて欲しい。

学校のこと、家のこと、塾のことなど、色々な活動がありますが、それぞれを十分にやりきれているか。居眠りをするために机の前に座るのは意味がない。生活の改善にチャレンジして欲しい。そのために、今夏に行く「勉強合宿」を活用してみよう。丸二日間缶詰になって黙々と勉強してみることは、必ず良い経験になると思う。

## 【前回までの学年通信から変更になった点をお知らせします】

1 合宿の実施場所が湯郷温泉美春閣に変更になりました(相手方の都合により)。

2 合宿参加申し込みの本調査用紙を7/2に配布します。✂切りは7日(火)。

また、前回の通信で第2回学力テストの中日の曜日が誤っていました。7月9日(木)です。申し訳ありませんでした。

(HP版は裏面を割愛します)